

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901183		
法人名	医療法人社団 圭泉会		
事業所名	グループホームやすらぎ(こもれびユニット)		
所在地	北海道旭川市東旭川町上兵村32-2		
自己評価作成日	令和3年12月20日	評価結果市町村受理日	令和4年7月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0172901183-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0172901183-00&amp;ServiceCd=320</a>
-------------	---

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・現在コロナの影響があり、外出・外食などなかなかできない中で、施設内で出来る行事として焼肉・鍋・お寿司レクなどしっかりと感染対策した上で皆さんが少しでも楽しんでもらえるようなレクや行事の提案をスタッフ同士で考えながら実施しています。

・研修参加もほとんどできない中で、各スタッフが毎月の勉強会を通して学ぶ機会を持ち、スタッフ間で知識の向上・共有に励んでいます。

・日々のレクリエーションではマンネリ化が懸念されていたが、各スタッフが色々工夫し考えながらオリジナルのゲームなど入居者さんが楽しめるような関りが出来ています。

・入居者さん個々の状態もスタッフ間で共有しながら、変化時には急遽スタッフ間で話し合ったり、必要時にはアセスメントを挙げながら対応を変えていき、Ns、Drにも相談、報告にて入居者さん・ご家族の負担が少しでも減るように都度対応出来ています。

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401
訪問調査日	令和4年2月4日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、旭川市街中心部より10キロ程の東旭川地区に位置し、動物園通りを中心にコンビニ、JR駅等が徒歩圏という至便な環境下に立地している。建物は平屋造りで、左右に位置した2つのユニットに、現在は9名の高齢者が生活を共にしている。母体は同一敷地内の医療法人で、病院の他に多様な福祉サービスを展開しており、各種のサービスと医療面での信頼が利用者や家族の安心感に繋がっている。当事業所の優れた点は、医療面の充実が挙げられ、配置の看護師と24Hのオンコール体制で繋がりが、隣接した病院の即応性も含め、医療連携体制の提供に努めている。現在は、コロナ禍により外出、行事が制限されているが、感染防止に留意しながら近隣の外気浴や、利用者の希望の食事をテイクアウトで味わって頂く等、職員間で検討し、出来ることから取り組んでいる。今後も変わらぬ尽力に期待したい

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各スタッフ理念をネームと一緒に携帯し、毎朝申し送り前にスタッフ全員で理念唱和行ない、共有、実践している。	開設時からの理念をリビングに掲示し、毎朝唱和することで日常的に共有している。会議や研修の場で理念への理解を深め、その実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染対策で外部からの訪問を制限しており、地域交流の機会は少なくなっている。	現在は相互に往来を自粛しているが、通例では地域町内会行事への積極的参加や、災害時の相互の協力体制を話し合う等、関係の継続に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年4回やすらぎ新聞を作成して普段の取り組みや行事の様子を掲示し、各家族さんに配布している。また、コロナウイルスの状況にもよるが、看護学生の受け入れも行なっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度定期的で開催していたが、現在コロナウイルスの影響により、集まった開催が難しい為、施設での取り組み内容を送付してご意見を頂いている。	通例では、管理者を中心に家族、地域代表、行政が参加し、定例で開催している。今年度は書面での開催となっているが、運営状況や現状の問題点まで論議されており、メンバーから意見を聞き取り、運営に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	施設での事故報告や、防災マニュアルや運営規定の変更など速やかに書類を提出し、状況を伝え相談し必要に応じて助言を受けている。	行政からは主に運営推進会議の場で意見、アドバイスを得ている。また、事業所の運営状況等の情報交換を行い、開かれた事業所作りに努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回身体拘束廃止委員会を開催し、委員が中心となり体験学習含めた勉強会を実施している。委員会の取り組みについて、議事録をスタッフ全員に周知し理解を深めるようにしている。	身体拘束廃止委員会を設置し、定例で毎月開催、内容について職員に周知している。全利用者の現状の確認と不適切なケアについて、具体的な事例を挙げ、職員間で協議している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年参加していた外部研修の参加はできていないが、定期的に振り返りシートのチェックを実施して、自らのケアの振り返りが出来る機会をもうけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する勉強会を通して学ぶ機会を持っている。また、地域包括支援センターからも勉強会の案内や事例を見てのアンケートの実施など行なっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご家族・本人から不安・疑問などない様に十分説明を行ない、ご理解してもらった上で契約を行なっている。契約事項等の変更があった時は、都度説明を行ない同意を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱を設置したり、苦情申し立ての窓口を掲示し、意見などあればそれらを運営に反映させている。	定例でホームだよりを送付し、写真を交えて生活状況、体調面等を伝えている。また、コロナ禍の工夫として、電話・手紙の頻度を上げ、意見の聴取に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りや月一回のミーティングを通して意見や提案する機会があり、普段言いつらいことなどは年2回の面談にて管理者と話す機会を設けている。	月例のミーティングや申し送りの場で、職員との意見交換や提案を受け、運営に活かしている。また、定期的に個別面談で意向を聞き取る等、話しやすく、働きやすい環境作りにも配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の個人面談にて自己・他者評価を含めた評価や細かな不安などないか話す機会がある。資格取得のためのバックアップや受験対策講座への参加が出来るように勤務調整をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月各スタッフに割り当てられた勉強会を自ら学び・作成し、各スタッフに向けてもフィードバックしている。外部の勉強会・研修については参加出来ていないのが現状。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染対策のため法人外研修や外部の同業者と意見交換をする機会はないが、法人内の市職員との意見交換や情報共有の機会を作り、サービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に実際面会し、本人の不安や想いなど聞き取り、ご家族さんからの情報を基にセンター方式活用し、本人が安心してサービスの利用ができる関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前に面談し、ご家族さんから不安や想いなど組みとり、必要時施設見学や質問など解るまで対応し、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族さんに運営規定・利用案内についてわかりやすく説明。他施設の特徴と違いについても情報を伝え、必要としているサービスの見極めをしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的なケアにならない様に、入居者本位でやりたいこと・出来る事は一緒に行ないながら生活を共にする関係づくりに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	感染対策の為、面会の制限がある中でご家族さんとの関係が途絶えないよう、行事ごとにアルバムを作成したり、定期的に写真など送付するなど、普段の生活状況を知って頂くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染対策の為、なじみの方と会うなどの外出は困難であるが、遠目から顔を見て声を掛け合ったり、手紙や電話などで関係が途切れないよう努めている。	コロナ禍により外出、面会の制限があり、困難となっているが、電話の取り次ぎやホーム便りを発行し、近況を伝える事で、それまでの関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者個々の人間関係を把握し、トラブルにならない様にスタッフが間に入り対応している。皆でレクリエーションなど楽しめるような関りができている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も関係性が保てる様、入院先や入居先に立ち寄った時には話をしたりと関りを継続している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションの中から本人の希望や想いなど汲み取るよう努めているが、記録に活かし切れてないことがある。	会話や表情から思いや希望を把握し、職員間で共有している。家族からも情報を得て、定期的にあセスメントを行い、プラン化している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サマリーやセンター方式活用や本人やご家族さんとのコミュニケーションを通じて、馴染みの暮らしや生活スタイルの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムを把握し、その方に合った生活が送れるようケアカンやアセスメントを活用しながら現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で、本人・ご家族と関わりながら意見や想いを見だし、スタッフ間でも情報を共有しながら本人に合った介護計画を作成するよう心がけている。	管理者、介護支援専門員を中心に、職員間でモニタリング結果を検証して、本人・家族の要望や職員、医療機関の意見を反映した介護計画となるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの中で変化が生じたこと、プランに沿った記録など記入していき、スタッフ間で気づいたことがあればカンファレンスやアセスメントなども記録に残し、実施・評価をしながらケアの見直しに活かすよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状態に合わせた通院介助やデイケアへの通所・福祉用具の購入など柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歯科往診や時計の修理、デリバリーラーメンレクや訪問理美容など活用しているが、コロナ感染対策状況によって利用できない事もあった。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医や当院と連携している病院への受診やDrへの相談などもとれる体制が整っている。	本人、家族の要望を伺い、かかりつけ医とのつながりを大切に支援するよう努めている。また、協力医療機関での受診結果については都度、お便りや電話で家族に伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師として常勤し、24時間連絡がとれる体制になっている。利用者さんの状態で不安な時はいつでも相談できるようになっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行って	管理者やスタッフが状態を見に行ったり、面会が厳しい時には電話にて入院先のナースから情報を共有しながら退院に備えた対応・関係作りができています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族にも早い段階で今後の対応について話し合いながら、家族の意向や想いを汲み取り出来る限りの対応を行ない、理解を深めてもらうように努めている。	契約時に指針を文書で説明し、同意書を得ている。また状況に応じて、医療機関を含めて話し合い、本人や家族の意向に沿って介護できるように、職員間で情報共有に努め、取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルに沿って対応したり、各スタッフにも理解を深めてもらうため、急変や事故時の対応の勉強会なども定期的に行なっている。今後も実践力が身につくよう研修をしていきたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練や消火訓練、水害時訓練などを行なっている。	年2回、同法人の他サービス事業所と併せ、火災、自然災害を含めた避難訓練を行っている。緊急持出し用の避難グッズや備蓄品の確認を行い、不意の災害に備えている。	現在、法人として取り組んでいるBCP(事業継続計画)作成に併せ、関係者への定期的な避難場所の周知等、進展に期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の声・思いを尊重しながら、声掛けの仕方、スピーチロックに注意して利用者さんが不快に思わないような対応を心掛けている。	接遇が介護の基本であることを理解し、声掛け、トイレ誘導や入浴時の対応を丁寧に行う等、尊厳を損なう事のないように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中からその方の想いを汲み取りながら、実現できることはスタッフ間で考えながら自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの業務にとらわれずに、入居者さんのペースに合わせて、その日に合わせたやりたいことなど希望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回訪問理美容に来てもらって、個々希望に合わせた髪型にしたり、カチューシャやヘアゴムなど本人がしたいおしゃれができています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人が負担にならない程度の食器洗いやお盆拭きなど行なっている。また、食べたいものを購入したり、仲の良い方と同じテーブルにして会話をしながら楽しく食事がとれるよう配慮している。	献立は利用者の希望を取り入れており、季節感・彩りを大切にしている。可能な利用者には配膳準備・片付けなどを手伝ってもらい、楽しみながら力を活かせるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に合わせた食事形態にて提供し、状態に合わせて形態を変えたり工夫している。また、食事・水分量など温度板や24Hシート活用しながらそれぞれ把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛けや介助にて実施している。また、必要な方には、スポンジブラシや口腔内ウエットシートなど歯科Drより勧めてもらったものを使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	24Hシート活用しながら個々の排泄パターンを把握し、おむつ使用は夜間のみにしたたり、トイレ誘導し失禁を減らせるよう対応している。	トイレでの排泄を基本としており、チェックリストを活用し、職員間で一人ひとりのサインを共有して、無理のない自然な排泄となるよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時にヤクルトや牛乳など乳製品を個々で購入し提供したり、散歩や体操など適度な運動をしながら自然排便に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お風呂の湯船が嫌いな方に対しては、無理に入らず湯船のお湯をかけ温めたり、不安が無いよう2名で介助したりと個々の状態に合った入浴介助を行なっている。	週2回以上の入浴に努めている。入浴には個々の心身の状況や気分に応じて、無理強いせず、楽しんで入浴出来るよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムを把握し、休息の声掛けを行なっている。昼夜逆転しそうな方には、日中の活動量を増やすなど対応もしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルを薬カートに貼り出し、マニュアルに沿って服薬介助をしている。処方変更時は全スタッフに周知して副作用や効能の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々が活躍できる機会を作りながら、洗濯物たたみや花の水やりなど自ら「やるからいいよ」と生活の役割として行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望に沿って買い物外出や外食、地域のお祭りに参加など行っていたが、感染対策上現在はできていない。天気の良い日には施設周辺を散歩したり、ドライブなど景色を楽しめるような支援をしている。	通例では個別に声がけし、日課として出歩くように努め、近隣へ買い物やドライブに出かけている。現在は、敷地内での外気浴や、室内でのレクに運動を取り入れ、気分転換や心身の機能維持に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る方は、少額だが自己管理してもらい、ジュースなど好みの物購入に使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望時にはご家族に確認の元、電話やテレビ電話、手紙でのやりとりを行なっている。必要時は代筆も行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には季節ごとに、スタッフや入居者さんで作った飾りを掲示して季節を感じてもらえる様、支援している。時間により光や音の調整をし、においにも注意して定期的に換気をしている。	食事や活動のスペース、一方はソファを配置した寛ぎのスペースと、フロアの活用を工夫して、メリハリのある生活空間になっている。ホーム内は清掃が行き届き、利用者や職員の作品なども装飾して、心地良く過ごせる雰囲気となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールソファにてテレビを観たり、パズルを皆でしたり、休みたいときには自室で休んだりとそれぞれ自由な時間を過ごしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室には家族との思い出の写真や人形といった馴染みのものなど自宅から持ち込み、心地よく生活が送れるよう工夫している。	家族の協力を得て、本人の馴染みある備品や家具、家族関係の写真等を持ち込んでもらい、心身の状況に合わせた生活環境となるよう努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々に合わせた手すりの設置や居室前に分かりやすく表札を作ったりなど、自立した生活が送れるように工夫している。		